



# 重富小学校 学校便り

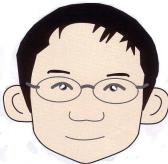
## 剣の平

令和7年度 12月号

創立137周年  
(重富小HPアドレス)<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

### 令和7年ありがとうございました

校長 平 千力



◎ 「校長先生。お手伝いします。」

校門奥のイチョウの木が、今年も黄色に染め上がりました。見るのはとてもきれいでですが、散ると今度は黄色い葉っぱのじゅうたん。これも見るのはきれいですが、ひとたび風が吹くと・・・・。私の11月下旬から12月半ばにかけての朝の仕事は、イチョウの葉っぱの掃除です。6時50分くらいから7時20分くらいまで。職員と一緒に掃除をするのですが、これがまた大変な作業です。そんな時、早く登校した男の子と女の子が、「校長先生。手伝います。」と言ってほうきを持って手伝いに来ました。1日だけじゃなく、ほぼ毎日。私は、朝の時間とても嬉しく幸せな時間となりました。

今は、すっかり、イチョウの葉も散りました。

◎ ぎゅっと握った手に思いが・・・

ある寒い日の朝。1人の1年生の女の子が正門前の横断歩道横で立ち尽くしています。校門を見ながら、目にいっぱい涙をためて・・・・。私は、正門のところからずっと見ていましたが動く気配がありません。「校長先生と一緒に行こう！」私は、女の子の手を握りました。女の子は少しずつ歩き始めました。私の右手をぎゅっと握り返しながら。女の子の小さな手から「頑張るんだ」という強い気持ちが伝わってきます。靴箱についた頃には、自分から階段を上って教室に行けました。「良かった～。」お母さんの気持ちがわかるような朝でした。

◎ まさに、自律 PTA 地域の皆様。

私の学校経営の最終目標の自律。「ものごとを自分で分事として捉える」という意味です。今年も、PTAや地域の皆様からたくさん「自律」した姿をみさせていただきました。

夏休みのけんのひら塾。毎朝の見守り活動。秋祭り等の地域行事。直近の少年の主張では、5・6年生の子供たちが感動的な素晴らしい発表をしてくれました。その御世話をしたコミュニティ青少年部長の鹿子木巧さん。門松づくりでは、地域の牧悦朗さんと東條弘さんの御指導のもと、準備から作成、イチョウの葉の掃除まで朝早くから頑張ったPTAの皆様。土曜日にあった、もちつきでも、前日準備から当日まで、こちらは野口治将会長の指導のもと、たくさんのPTAの方々の協力がありました。剣の平登山では、事前の登山道や頂上の草原払いを2度もされ、当時は高野俊明さんの案内のとも、一緒に登ってくださった地域ボランティアの皆様や岩下恵美さん。持久走大会は、見守り隊の皆様の御協力のもと実施することができました。これらの活動以外にも、11月の県民週間での様々な行事や運動会等々・・・様々な場面でたくさんの方々の御協力をいただきました。

重富小のPTAやコミュニティの素晴らしいところは、強制での参加ではなく、やりたい方がやりたいことをするというのが基本です。参加された皆さんは、みんな笑顔で輝いています。フットワークも軽く、生き生きとされています。何より楽しく参加しています。これこそ、「自律」だと思いますし、well-beingな姿だと思います。

我々大人の姿を見て、子供たちは育っていきます。

いつまでも、輝く笑顔で、楽しく、フットワークの軽い大人でいたいですね。

PTA役員・事務局の皆様、コミュニティの皆様、そして全てのPTA会員の皆様。

令和7年も、重富小学校に御協力いただき心から感謝申し上げます。



【竹の角度が難しい】



【おいしいお餅になりました】



【剣の平から見た重富小】